

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

耐えて待つ春の訪れ今そこに

今年再び花の季節が

●宮古市 太田屋滋

白杖が標識叩く金音に

我走り寄りそつと手を添え

●朝霞市 林 則雄

ひさかた
久方に友と歩みし段葛

終り桜は花びらの雨

●松戸市 秋元輝美

街路樹の新芽若葉は日を増して

緑濃くなり初夏を迎えん

●東京都足立区 町田公徳

仕事場の菜の花畑が満開に

モンシロチョウが三密で遊ぶ

●狛江市 根方一吉

何処からか家庭菜園見つけ来た

初蝶蝶良くも悪くも

●羽村市 中 新一

明易し早も東雲白白と

淡くも残る弓張の月

●長岡市 近藤 博

新緑の峰々さらに生き生きと

自然の命すばらしきかな

●福知山市 岨尾 充

俳 句

一本のビール一皿の酢味噌和え

●小山市 原田利江

それぞれにおのれ誇示する牡丹かな

●本庄市 長谷川千鶴子

ゆったりと花卉広がる花菖蒲

●草加市 長谷部禎子

囀りは薬王院を出てすぐに

●戸田市 篠崎志津子

轍ゆくタンポポの絮舞い上る

●戸田市 清水久雄

春の畦よべ昨日の雨消へどこへやら

●戸田市 山田武乙

新茶酌むゴクンとなるや喉仏

●東京都大田区 小池弘一

家籠りの窓辺を掠め初燕

●立川市 浅見 眞

キッチンカー長蛇の列に春の風

●平塚市 田中博由

花筏寄りつ分かれつ波まかせ

●塩尻市 大家協治

房のまま揺らぎ頬擦り八重桜

●塩尻市 奥原光夫

桜散る家族で食す香る餅

●塩尻市 小野正平

種芋をうえて一息頬に風

●塩尻市 永原良子

城跡は巨石つまれて風青し

●塩尻市 町田まさ子

風孕み尾を天に跳ね鯉のぼり

●可児市 井戸和秋